

別紙

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称： 一般社団法人しなの福祉教育総研	所在地： 長野県上田市上田186-6
評価実施期間： 令和4年6月1日から令和5年2月16日 *契約日から評価結果の確定日(通常、評価結果報告会日)まで	
評価調査者(評価調査者養成研修修了者番号を記) 50431 B16022	

2 福祉サービス事業者情報(令和4年10月現在)

事業所名： (施設名) 明星学園	種別：障がい者支援施設
代表者氏名： 宮下 智 (管理者氏名) 宮下 智	定員(利用人数)：40名 名
設置主体：社会福祉法人明星会 経営主体：社会福祉法人明星会	開設(指定)年月日： 昭和44年 4月 1日
所在地：〒399-2561 長野県飯田市駄科2250番地	
電話番号：0265-26-9456	FAX番号：0265-26-9094
電子メールアドレス：myojo-gakuen-iida@clock.ocn.ne.jp	
ホームページアドレス：https://myojo-gakuen.or.jp/	
職員数	常勤職員： 27名 (専門職の名称) 名 非常勤職員 20名
専門職員	社会福祉士 1名 社会福祉士
	介護福祉士 4名 介護福祉士
施設・設備 の概要	(居室数) (設備等) 個室20室、2人部屋 12室 食堂2室、浴室2室

3 理念・基本方針

(1) 法人理念

『みんな幸せになりたい あなたも私も』

(2) 憲章

明星学園は、本当の気持ちを伝えられずに困っている知的障がい・自閉症の方に、「パーソンセンタード(本人中心)」を基本とした、行動すべてが発信であるという「お心主義」の信念で、「意志決定支援」を実践する、あなたも、私も幸せになる場所です。

(3) 行動基準

①笑顔で明るくあいさつを、自分から先にします。

②利用者の目線で安全を考え、健康や環境に異常を感じたら直ぐに報告し対応します。

- ③どんな小さな発信も受け止め、対等、肯定の姿勢で意志決定をサポートします。
- ④職員同士で報・連・相を行い、お互いを認め、助け合うチーム支援をします。
- ⑤家族や地域に情報発信し、情報共有を行います。
- ⑥関わる全ての人に「ありがとう」「助かったよ」を伝えます。

※この行動基準を全職員が実践することで、法人理念に近づくものと考えており、法人が求める人物像であるとも言えます。

(4) 明星学園運営方針

「明星学園10年構想～グランドデザイン～」を見据え、どんなに障がいが高くても、地域社会で「主体的に生きる」ことによって自己実現が満たされることを目指し、「コミュニケーション技術」、「自己確立と自己実現の支援」、「社会参加への支援」を行っていきます。

また、様々な障がいと多様なニーズを持っている利用者に対して、異なる価値の共存を認め合う「共存社会の実現」に向けて、利用者一人ひとりの「どんな暮らし」のために「何が必要か」を包括的に考え、求められる活動支援を行っていきます。

家族会との連携、外部機関との連携を図り、支援サービスの向上をめざしてまいります。

4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

- 日中活動（仕事や活動）として、アクリルたわし、ひのきの入浴剤、クッション、ヘアアクセサリなどの生産品を作成し外部販売を行ったり、空き缶つぶしなどの軽作業やアート活動、アロマセラピー、運動、音楽、ドライブなど様々な選択肢を用意し、「癒し」「ゆとり」「生きがい」を心がけながら充実した生活が過ごせるよう支援しています。
- 明星学園主催の「療育研究会」「臨床動作法飯田月例会」等研修を積極的に行い、毎月、理学療法士（外部講師）による運動機能回復などを、言語聴覚士（外部講師）による嚥下などの食事支援を指導して頂くことで、職員の資質向上と支援力の強化を図っています。
- 開かれた施設を目指して、ブログを積極的に活用し、利用者の日常的な活動や職員紹介・日常エッセイなどを掲載し、施設の様子を随時お伝えしています。
また、年2回発行の広報誌「プリズム」を地元地域に配布したり、回覧板に乗せて頂いたり、学校関係、役場、施設関係などにも配布し、幅広く広報しています。

5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	1回（平成30年度）
---------------	------------

6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

◇特に良いと思う点

① 法人の基本理念にもとづく「利用者本位」へ向けた支援が実践されていました。『行動すべてが発信であるという「お心主義」によるパーソンセータードな支援プログラム』の考え方を理解し、利用者を真ん中に置いた自己決定支援が行われていました。また、どんなに障がいが重くても、地域社会で「主体的に生きる」ことによって自己実現が満たされることを目指し、「コミュニケーション技術」、「自己確立と自己実現の支援」、「社会参加への支援」に取り組んでいました。

② 法人全体として一体的な経営・運営体制が整備され、質の高い標準的サービスの提供が行われていました。

法人の理念、憲章、行動基準、運営方針、事業活動を各事業所が共通理解するために、事業計画書の他に、業務計画書（永久版・臨時編版）があり、200頁に及ぶ内容が記載されていて、法人の考え方や方向性、各事業の内容統一がしやすい仕組みが構築されており、標準的サービスを提供する仕組みができていました。また、保育園、グループホーム以外は同一敷地内に事業所があるため、職員間の情報交換や協力体制ができやすく、一体的運営が実施できる形態となっていました。

③ 社会に開かれると共に、透明性のある事業所をめざした取組が行われていました。

明星学園運営方針には、「利用者の社会参加」「共存社会の実現」「外部機関との連携」等地域社会と共に歩んでいく方向性が明示されていました。具体的な取組としては、年2回の広報誌「プリズム」を公共施設、学校関係、近隣地域へ配布、ブログを積極的に活用して、事業所の活動や利用者の状況を知っていただく取組が行われていました。また、法人のホームページには法人全体の事業内容、事業報告、決算報告、第三者評価結果の公表等がされ、透明性のある事業運営に取り組んでいました。

④ 職員間のコミュニケーションが円滑に図られ、働きやすくやり甲斐のある職場となっていました。

職員の聞き取り調査の中でも、「職員間のコミュニケーションが良くとれていて、年齢や経験にとらわれず、自らの考えや意見が言いやすい」というお話が多くありました。職員チームは、多様な年齢層で構成されていますが、お互いの意見を認め合い、チームワークも良く、協力体制ができていました。また、職場環境としては厳しい面もあるが、仕事の方向性・目指すものが共通理解されているため、やり甲斐をもち働ける職場であると感じました。

⑤ 職員給与を含めた福利厚生が充実していて、将来にわたり安定して働き続けられる環境が整備されていました。

職員自己評価や聞き取り調査の中で、「給与面は安定している」「給与については満足している」等のご意見があり、給与待遇が充実していることが分かりました。また、それ以外の福利厚生面においても、年間有給取得日数は、令和3年度実績は86%である。ノー残業デーの実施、職員のメンタルケアの実施等が行われていて、職員の離職率も低く、働きやすい職場であると共に、将来にわたり働き続けられやすい環境ができていました。

◇特に改善する必要があると思う点

① 利用者の満足度調査及びプライバシー保護についての規定・マニュアルの整備をお願いしたい。

利用者の満足度についての調査は、日常的な中での意向の確認の他に、個別面接による聴取、利用者懇談会、家族懇談会、定期的な一定項目による満足度チェック等により行われることが望まれます。また、広く人権擁護についての取組として、虐待防止委員会、苦情解決委員会、人権倫理委員会、ハラスメント防止・虐待防止委員会の設置が規定されていますが、日常的に利用者のプライバシー保護を行うための規定・マニュアル（ここでいうプライバシー保護とは「他人の干渉を許さない、各個人の私生活」）の規定の作成と職員及び利用者・家族への周知をお願い致します。

②一部職員に負荷がかかる職員体制があり、ストレスを抱える職員もおり、職員の役割分担等の見直しについて検討をお願いしたい。

法人全体としての職員福利厚生は充実していて、働き甲斐のある職場であるという評価がありますが、職員の職務内容や役割分担によっては、一部職員への負担度が高くなっていて、職務を負担に思えたり、ストレスを抱える職員がいるという意見を、自己評価や聞き取り調査の中から聞くことができました。今後の中で、職員が意欲をもち、安定して働くことのできる職場づくりに向けた取組を、より一層期待致します。

7 事業評価の結果（詳細）と講評

- ・ 共通評価項目（別添1）
- ・ 内容評価項目（別添2）

8 利用者調査の結果

聞き取り方式の場合（別添3－2）

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添4）